

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	05	平和の推進と国際化への対応
施策	01	平和事業の推進

**目的**

世界の恒久平和を実現するため、様々な機会をとらえて、平和に関する学習と啓発を推進し、平和についての認識の強化を図ります。

**対象・手段**

対象：区民、特に戦争を知らない世代。  
 手段：地域に根ざした粘り強い啓発活動を行います。  
 平和のポスターを描くことを通して、平和を願う児童・生徒を育成します。

**施策の方向**

平和を願う児童・生徒と平和の大切さを深く認識できる区民を育てることで、平和な社会を構築します。

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
ポスター展応募者数(人)	(平成10年度) 2,000人 現状値 (平成14年度) 1,562人	(平成19年度) 2,000人	(平成19年度) 1,006人	児童・生徒数の減少の影響もあり、10年間を通じて2,000人の目標は達成できませんでした。

指標名の定義：ポスター展応募者数

**成果指標**

指標名		定義		目標水準		
平和のポスター展への参加校数		応募校数		(平成19年度) 41校	年度にの水準達成	
平和講演会の参加者数		参加者数		(平成19年度) 100人	年度にの水準達成	
				( )	年度にの水準達成	
<b>施策の達成状況</b>						
		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
施策成果指標	目標値1	校	41.00	41.00	41.00	
	実績1	校	25.00	26.00	25.00	
	目標達成率1 = /	%	60.98	63.41	60.98	
	目標値2	人	100.00	100.00	100.00	
	実績2	人	77.00	100.00	100.00	
	目標達成率2 = /	%	77.00	100.00	100.00	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

## 主な取組み

平和展は3会場で開催。うち新宿歴史博物館では教育委員会の平和のポスター展と同時開催しました。

親と子の平和派遣では広島市に親子7組14名(応募27組)を派遣しました。派遣先では平和記念式典へ参列したほか、被爆体験講話を聴き、原爆ドームや平和記念資料館などを見学しました。また派遣後、平和派遣報告会で報告し、報告書「親と子の広島レポート」を作成しました。

平和派遣の会との協働事業として、「平和派遣報告会」「すいとんの会」と「平和講演会」を開催。講演会では体内被爆者の方による講話とディスカッションを行いました。

## 課題

戦後60年以上が経過し、戦争の悲惨さを直接継承する人が少なくなっている現状のなかで、若い世代が平和の大切さに関する認識を一層深める事業を推進していく必要があります。そのためには、平和派遣者が区民の代表として平和派遣で得た知識、経験をより多くの人に伝えていく機会を作ることが課題です。

また、学校教育においては、平和のポスター展のほか、各教科等における平和にかかわる単元での学習等、各学校の実態に即した多様な展開を研究・工夫することが課題です。今後とも教育全体の中で様々な機会を活用して、恒久平和を願う児童・生徒の育成に努める必要があります。

総合評価	
<p>平和は区民生活の基本を成すもので、平和について考える契機となる平和啓発事業は、継続的に推進していくことが必要であり、平和展・平和講演会・平和派遣事業等を着実に実施することで、多くの方に平和について考える契機を提供することができました。また、平和のポスター展への参加校は25校にとどまりましたが、学校教育の中で継続して恒久平和を願う児童・生徒を育成することは平和な社会を構築するためにも有意義であり、恒久平和を願う児童・生徒を育成する役割を果たしました。</p> <p>サービスの負担と担い手</p> <p>平和は区民生活の基本を成すものであり、啓発事業は区民との協働で担っていく必要がありますが、平和を願う児童・生徒の育成は、学校教育のなかで行う事が妥当であり、区が継続して実施します。</p> <p>適切な目標設定</p> <p>平和ポスター展の応募者数を目標としましたが、少子化に伴う児童・生徒数の減少の影響や平和事業の対象者が児童・生徒に限らないことから、平和啓発の浸透を図る適切な目標設定が必要です。</p> <p>効果的・効率的な視点</p> <p>区民との協働により実施する事で区民の意見や視点を活かすことができるため、効果的な事業実施につながります。また、将来を担う子どもに対して学校教育の中で平和の認識強化を図ることは、効果的です。</p> <p>目的の達成度</p> <p>平和講演会等の平和啓発事業において多くの参加を得たことから、多くの人に対して平和意識の向上を図ることができたと言えます。</p>	B

## 今後の取組み・改革の方針

この事業は、戦後60年以上が経過し、戦争の悲惨さを直接継承する人が少なくなっているなか、戦争の悲惨さと平和の大切さを若い世代に継承するため、新宿区総合計画の基本施策「 - 3 - 平和都市の推進」に引き継いで取り組めますが、より多くの人に参加してもらうため、新たに実施する上映会、平和コンサートを平和派遣の会との協働で行う派遣報告会や平和講演会と同時開催するなど、各事業を工夫して実施していきます。

また、学校教育においては、今後とも教育全体の中で様々な機会を活用して平和に関する学習を推進し、恒久平和を願う児童・生徒の育成に努めていきます。

## 施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
平和啓発事業の推進	B	148		